



- 様々な効果に関連する健康投資(*)
- 健康の保持・増進に向けた7つの柱**
1. 生活習慣病予防
 2. メンタルヘルス対策
 3. 禁煙対策
 4. 過重労働対策
 5. ワークライフバランス
 6. 職場の活性化
 7. 感染症予防対策

- セミナー(健康、女性)
- 健康診断後、再検査、精検受診勧奨
- 食事相談窓口
- セルフラーニング支援
- 運動イベント
- 睡眠・休養
- 禁煙対策
- ストレスチェック
- カウンセリング窓口の活用案内
- 予防接種補助
- 社内交流イベント開催
- 時間外労働の管理
- 業務標準化マニュアル化
- テレワーク・時差勤務
- 有休取得キャンペーン

- セミナー開催回数、参加率
- 再検査、精密検査受診率
- 相談利用率
- 運動イベント開催回数、参加率
- 睡眠イベント開催回数、参加率
- 禁煙eラーニング参加率
- ストレスチェック(受検率、高ストレス者率)
- カウンセリング窓口利用数
- 社内交流イベント実施回数、参加率
- 時間外勤務時間数
- テレワーク利用率
- 有給休暇取得率

- 【食事】
特定保健指導対象者率 減
- 【運動】
Q66(c)運動習慣者比率
- 【睡眠】
Q66(d)「睡眠により十分な休養が取れている人」
- 【メンタルヘルス】
Q71「メンタルヘルス不調による休職者数、復帰者数」
- 【コミュニケーション】
職場の人間関係
ストレスチェックの結果にて
・上司の支援の平均得点
・同僚の支援の平均得点

- プレゼンティーズム
- アブセンティーズム
- ワークエンゲージメント

すべての社員が心身ともに健康で、意欲と情熱を持って仕事に取り組める職場